

三宅島及び新島・神津島周辺の火山活動及び地震活動について

三宅島及び新島・神津島周辺のマグマ活動に関する火山噴火予知連絡会（伊豆部会）の検討結果は次のとおりです。

三宅島から新島・神津島付近にかけての地域、非常に活発な地震活動が続いています。また、神津島の東方海域を中心とした地殻変動が継続しています。

3日の夕方頃から本日4日未明にかけて神津島の東方海域においてマグニチュード4～5クラスの地震が多発し、地殻変動が加速しました。GPS観測によれば、新島－神津島間の距離は、それまで1日あたり1～2cmの伸びが観測されていましたが、3日の夕方以降は、1日あたり10cm弱の伸びとなっています。

これらの地震活動及び地殻変動は、神津島の東方海域の地下での岩脈状のマグマの活動に関連して発生していると考えられます。

3日の夕方頃から本日4日未明にかけての地殻変動の加速は、岩脈状のマグマの活動が浅くなった可能性も示唆しています。

今後とも、地震活動及び地殻変動等を注意深く監視していく必要があります。

新島・神津島周辺では、今後とも、これまでと同程度の規模の地震が発生する可能性があり、地震の発生する場所によっては強い揺れを伴うことが考えられます。また、この地域では、これまでの地震により地盤の緩みが発生していることから、規模の小さな地震や少量の雨でも土砂崩れや崖崩れの発生に注意が必要です。